

文献目録（主要雑誌の文献目録に限定した）

American Meteorological Society: Meteorological and Geostrophysical Abstracts

- 柴田 佑, 1959: 気象集誌の文献目録（第2輯1巻～33巻）図書月報, 4, 5（特別号）  
 小山しげ, 竹田邦子, 1962: 欧文彙報 (Geophysical Magazine) の文献目録 同上, 6（特別号）  
 小山八洲夫, 1961: 産業気象調査報告の文献目録（昭和2～33年）同上, 7（特別号）  
 西崎睦子, 榊井忠男, 1961: 研究時報の文献目録（1～10巻）同上, 7（特別号）  
 柴田 佑, 望月幸代, 1963: 中央気象台彙報（気象雑纂を含む）の文献目録. 同上, 9（特別号）  
 白岡久雄, 鳥山三郎, 1964: 気象研究会誌の文献目録, 同上, 10（特別号）  
 河村 武, 1968: 地理学関係学術雑誌に掲載された気象学関係文献目録, 気象研究ノート, 98, 158～162.  
 気象研究ノート編集委員会, 1970: 気象研究ノート総目次（1～100号）気象研究ノート, 101

第19期第1回常任理事会議事録

日 時: 昭和51年9月8日 14:00～17:00

場 所: 気象庁総務部入札室

出席者: 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 内田, 奥田, 神山, 河村, 門脇, 立平, 股野, 各常任理事

報 告

〔庶務〕 1. 8月19日, 第18期限りで辞められた理事・監事12名にボールペン・シャープペンシルセット（価格4,000円）を贈呈した。

2. 9月4日, 地球物理研連幹事下鶴大輔氏から, 同当番学会の日本気象学会へ, 昭和52年度文部省科学研究費補助金の審査委員推薦依頼がきたが, 浅井富雄氏, 田中正之氏が52年度も継続する委員となっている。

3. 役員異動に伴う登記は, 8月31日付で完了した。

〔会計〕 8月分の会計報告, 名古屋における大会には予算に計上してある旅費を関係者に実費を支給することとする。

〔天気〕 発行は順調になってきた。アルバイト体制は, 継続して行きたい。広告も順調である。原稿は発行月の5日までに頂きたい。

〔講演企画〕 9月3日夏季講演会シンポジウム「Monex/FGGE の参加計画について」が気象庁で行われ, 多数の参加者があった。

議 題

1. 各委員会委員について, 未確定のところは, 早急に決めて貰い全国理事の承認をとる。

2. 「教育と普及」について（夏季大学に代り）。委員会設置の必要性和活動計画が河村理事から述べられた。夏季大学も年々参加者が多くなり, 気象学会の将来のためにも教育と普及に専門的に取り組む組織が必要であ

る。活動計画としては,

(1) 普及講座……天気編集委員会と協同

(2) 夏季大学……できれば支部と共同で地方でも開きたい

(3) 気象のカリキュラム研究を推進させる等

3. 学会奨励金受領候補者について, 9月3日に行われた選考委員会の審査結果が立平理事から報告された。自薦・他薦を含め4名の候補者があったが次の会員を受領者として選定し, 全理事の書面審査を受けることにした（選定理由は670ページ）。なお, 仙台管区から佐々木芳春会員（深浦候測所）を推薦する旨電話連絡があったが, 推薦書類が未着なため, 来年度に考慮することになった。

山田 幹夫 香川県立高松高等学校教諭

力 武 恒夫 名古屋地方気象台勤務

松村三佐男 室戸岬候測所勤務

4. 「第14回理工学における同位元素研究発表会」の共同主催について。

共同主催とすることを承認。運営委員は 矢野 直 会員を推薦したい。

5. 学会運営の問題点について。

札幌の伊藤 宏理事から次のとおり提案があった。

(1) 日本の社会の中における研究, 技術に従事するものの地位の向上。

(2) 最近話題の環境問題や従来から関連の深い農業その他における技術の向上。

(3) 外国との交流の増強。

承認事項: 朝比奈 均ほか9名の入会を承認。